

事務事業マネジメントシート(令和 5年度実績と令和 6年度計画)

令和 6年 5月15日 更新

事務事業名		愛玩鳥獣登録事業				☐ マニフェスト関連 ☐ 全庁横断課題関連 ☐ 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	4	生活環境の健康			所属部	産業振興部	課長名	坂本 卓博
	施策	18	住環境の充実			所属課	農政課	担当者名	今村 萌
	施策の柱	58	公園など身近な住環境の整備とみどりの保全			所属班	農政班	(内線)	5224
予算科目		会計一般	款 6	項 2	目 1	事業連番 10202	根拠法令	合志市鳥獣捕獲許可(愛がん飼養目的)及び鳥獣飼育登録実施要領 合志	
終了、開始年度		☐ 5年度で終了 ☐ 5年度から開始				事業期間	☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 (開始年度 18 年度) ☐ 期間限定複数年度 (~ 年度)		

★事務事業の概要(PLAN)

【事業の内容】	メジロ(新規、更新)、ホオジロ(更新のみ)登録事務。県からの権限移譲により平成19年度から市の事務となった。※19年度から新規での飼養はメジロのみ。ホオジロは登録更新のみ。24年度からはメジロの新規登録も不可となり、新規の愛玩飼養は原則禁止となった。
【業務の流れ】	申請書受付、手数料調定・納付書発行、登録証発行、台帳記載
【主な予算費目】	歳入として手数料
【意見や要望】	特になし

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分	
① 手段(主な活動) 5年度実績(5年度に行った主な活動)(DO)		6年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)	
事業内容と同じ。登録更新事務は1月から行った。		メジロ、ホオジロの登録事務(更新のみ)。場合によっては譲渡受付、飼養廃止受付。	
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 件	予算の主な増減の理由	
⇒ ア 受理件数	件		
⇒ イ			
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	(単位) 人	② 対象指標(対象の大きさを表す指標)	
市民	人	⇒ ア メジロ、ホオジロを飼育している人	
		⇒ イ	
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	(単位) 件	③ 成果指標(意図の達成度を表す指標)	
メジロ・ホオジロの飼養を継続することが出来る。	件	⇒ ア 新規登録数	
		⇒ イ	
*③成果指標設定の理由と 6年度目標値設定の根拠 平成19年からホオジロの捕獲が禁止され、24年度からはメジロの捕獲も禁止となった。			総トータルコスト 全体計画 ~ 年度 0

(2) 各指標・総事業費の推移											
		単位	3年度 実績(決算)	4年度 実績(決算)	5年度 目標(当初予算)	5年度 実績(決算)	6年度 目標(当初予算)	7年度 予定	8年度 見込	9年度 見込	
① 活動指標		ア 件 イ	3 -----	3 -----	3 -----	3 -----	3 -----	3 -----	3 -----	3 -----	
② 対象指標		ア 人 イ	3 -----	3 -----	3 -----	3 -----	3 -----	3 -----	3 -----	3 -----	
③ 成果指標		ア 件 イ	0 -----	0 -----	0 -----	0 -----	0 -----	0 -----	0 -----	0 -----	
投資 入費 量	事業 内訳	財源									
		国庫支出金	千円								
		都道府県支出金	千円								
		地方債	千円								
		その他	千円								
		繰入金	千円								
	(A) 事業費計	一般財源	千円								
		(A) 事業費計	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
		(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
	人件費	(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
		正規職員従事人数	人	1	1	2	1	2	2	2	2
		延べ業務時間	時間	20	20	80	15	80	80	80	80
(B) 人件費計		千円	78	76	318	54	318	318	318	318	
トータルコスト(A)+(B)		千円	78	76	318	54	318	318	318	318	

事務事業名	愛玩鳥獣登録事業	所属部	産業振興部	所属課	農政課
-------	----------	-----	-------	-----	-----

2 評価の部（CHECK）

*原則は 5 年度的事後評価、ただし複数年度事業は 5 年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	① 5 年度目標達成度評価	☒ 達成した ☐ 達成しなかった ⇒【原因】 24年度から愛玩飼養の新規登録ができなくなったため、24年度以降は更新の受付と飼養廃止の受付のみを行った。
	② 6 年度目標達成見込み	☒ 目標達成見込みあり⇒【理由】 ☐ 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 メジロ・ホオジロの飼養者は更新が必須であるため。
有効性評価	③ 成果の向上余地	☐ 向上余地がある ⇒【理由】 ☒ 向上余地がない ⇒【理由】 メジロ、ホオジロを飼育している人が対象のため。
	④ 類似事業との統廃合・連携の可能性	☐ 他に手段がある（具体的な手段、事務事業） ☒ 他に手段がない ⇒【理由】 ☐ 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 ☐ 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 類似の目的を持つ事務事業は他にない。
効率性評価	⑤ 事業費の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】 事業費を伴わず人件費のみであるため。
	⑥ 人件費（延べ業務時間）の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】 本事業への職員の対応を少なくすることは難しい。
公平性評価	⑦ 受益機会・費用負担の適正化余地	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 公平・公正である ⇒【理由】 メジロ、ホオジロを飼養する人すべてが対象である。
役割分担評価	⑧ 行政の役割分担の適正化	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 役割分担は適正である ⇒【理由】 県からの権限移譲されているため、市が行うしかない。

3 評価結果の総括（CHECK）

新規での飼養登録ができなくなったため、登録更新事務が主となっている。

4 今後の方向性（事務事業担当課案）（ACTION）

(1) 今後の事業の方向性（改革改善案）・・・複数選択可 ☐廃止 ☐休止 ☐目的再設定 ☐事業統廃合・連携 ☐事業のやり方改善（有効性改善） ☐事業のやり方改善（効率性改善） ☐事業のやり方改善（公平性改善） ☐現状維持（従来通りで特に改革改善をしない）		(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要) <table><tr><td colspan="2" rowspan="2"></td><td colspan="3">コスト</td></tr><tr><td>削減</td><td>維持</td><td>増加</td></tr><tr><td rowspan="3">成果</td><td>向上</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>維持</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>低下</td><td></td><td></td><td></td></tr></table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
		コスト																					
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持																						
	低下																						
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策																							